

ロータリーの歴史年表 (2021年10月30日改訂版)

RID2710 PDG 諏訪 昭登 (広島西 RC)

- 1868:(M1) ・ロータリーの創設者 **Paul Harris** 生誕 (ウィスコンシン州ラシーン 4/19)。
その後、3歳頃から祖父母の住むバーモント州ウォーリングフォードで成長した。
- 1905:(M38) ・2月23日、ポール・ハリス他3名 (シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローア) がシカゴ・ロータリークラブを設立 (**ロータリーの創立**)。ノース・ディアボーン街、ユニティビル 711 号室、ローアの事務所にて (1業種1会員の原則)。
初代会長はシルベスター・シール。例会は各会員事業所リレーから変更して第7回 (5/18)をパーマーハウス・ホテルで新たに昼食付きで行い、その後暫くはホテル巡回で開催。極めて初期に歌唱の習慣始まる (ハリー・ラグルス)。
- 1906 : ・シカゴ RC 定款制定<1月> (定款第2条「綱領」に2項目「**相互扶助と親睦の概念**」を設定。例会で最初の定例的ロータリーソング開始 (ソングリーダー=ハリー・ラグルス)。
定款第2条「綱領」にドナルド・カーター直言により3項目に「**社会奉仕概念**」を追加 <12月>。
- 1907 : ・ポール・ハリスがシカゴ RC 三代目会長に就任 (2月)。当時、年度は2月~1月。
公衆便所設置の市民運動を喚起し(1907)、1909年、市内2か所に設置 (**社会奉仕の実践**)。
- 1908 : ・サンフランシスコに2番目のクラブ誕生。ついでオークランド(初の毎週例会クラブ、1909年)、シアトル、ロサンゼルス、ニューヨーク、で RC 設立。
シカゴ RC が最初の家族会(レディース・ナイト、3/12)を開催。フレデリック・シェルドン、チェスリー・ペリーが入会 (6月)。シェルドンが「職業分類表」を作成。
ポール・ハリス会長が拡大とシェルドンの Service 理念とを急進的に進め、クラブと意見対立を惹起して2年日途中で辞任 (10月)。シェルドンも拡大委員長罷免。
- 1910 : ・**全米ロータリークラブ連合会** (National Association of Rotary Clubs of America=NARCA) が誕生。シカゴで第1回ロータリー大会開催(8/15~17, 16RC 1,500人)、後年これを **RI の創立**と位置づけた。ポール・ハリスが初代会長、ペリーが初代事務総長となりシェルドンは Business Method Committee 委員長となる。
・最初のロータリーの綱領制定 (親睦が目的から外れ物質的相互扶助からの脱却を図る)。
・大会演説でシェルドン (シカゴ RC) が“He profits most who serves his fellows best.”を発表。ロータリー年度開始がこの大会翌日からとなる。最初の SAA ワーナー・ヘドケ。ポール・ハリスがジーン・トムソンと結婚(7/2)
・カナダでウィニペグ RC 誕生 (11/3、米国以外で初、翌年度加盟)。
- 1911 : ・「The National Rotarian」1月26日に発刊(第1巻第1号)、翌年9月に「The Rotarian」と改称 (第3巻第1号として)。
・ポール・ハリスが第1巻第1号に「Rational Rotarianism」掲載 (ロータリーで重要な

精神的要素“ Toleration”「寛容」出典の起源)。

- ・ポートランドで第 2 回大会開催。シェルドンのスローガンは“He profits most who serves best” (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる) となり「ロータリー宣言」結語として満場一致で採択された。またフランク・コリンズ (ミネアポリス RC) がエクスカーション船上で、“Service, Not Self” (超我の奉仕) を発表したが大大会で採択されてはいない。
- ・「The National Rotarian」 11 月号(第 2 巻第 1 号)にコリンズの“Service, Not Self ”についての論文が掲載された。誤解されたが決して宗教的ではない。
その後、次第に“Service Above Self ”に変更され (変更者不明)、1920 年頃までにシェルドンの標語と共に広く使用されるようになる。
- ・英国にダブリン (2/2)、ロンドン (8/3) 他の RC 設立が本格的に開始。
- ・「Rotary Club Manual」発行(手続要覧の原型)。
- 1912(T1) : ・ **国際ロータリー・クラブ連合会**(International Association of Rotary Clubs=IARC ドゥルース大会 50RC 6,000 人、8/6~9) グレン・ミード会長、ポール・ハリス名誉会長。
・連合会の綱領とクラブの綱領が分離された (親睦と相互扶助を一掃)。
・クラブ綱領 5 ヶ条を含む模範定款・細則発表。クラブ綱領に“service”という語が初出。
・「ロータリー宣言」の結語に“Service is the basis of all business”が加わった (スローガンの前半部分)。ロータリー年度を大会翌日開始とした。
・歯車のロータリーマーク制定。管区 (後の地区) 制制定。
・シラキュース RC の身体障害児対策が、やがてトレド RC やエリリア RC のエドガー・アレン等による国際身体障害児協会の設立につながる (**社会奉仕活動の顕在化**)。
- 1913 : ・最初の大型災害救援金・水害援助拠金 (オハイオ、インディアナ両州救援合計 \$25,000)。ロータリー年度の表現開始 (7 月~6 月末決定・本格的実施は 1917 年)。
・道徳律起草の提案 (バッファロー大会)。シェルドンが黄金律を尊重した演説を行う。身体障害児対策開始 (シラキュース RC)。
- 1914 : ・第 1 次世界大戦勃発 (1914~1918)。イギリスとアイルランドで戦争避難民救済活動が始まる (**国際奉仕の萌芽**)。Aims and Objects Committee (目標設定委員会) 設置。
・ロータリー旗採用 (ヒューストン大会)。IM 始まる (サンフランシスコ RC とオークランド RC)。ロータリー・クラブ・イギリス連合会結成 (BARC。後の RIBI)。ニューヨークに初のアディショナル RC が設立された。
- 1915 : ・サンフランシスコ大会でアイオワ州スー・シティ RC (途中、リーダーはロバート・ハントから J.R.パーキンスへ) の労作である「ロータリー:道徳律 (The Code of Ethics)」を採択 (**職業奉仕基準の確立**)。
・大会報告書の中に初めて“Ideal of service”の語が出現(グレン・ミード言)。
・標準クラブ定款と模範クラブ細則を採用 (**クラブ管理の標準化**)。
・19 の地区制度・ガバナー制度の制定。アディショナル正会員制度の制定。
・身体障害児対策を本格開始、肢体不自由児への教育事業 (トレド RC)。
・キワニス・クラブ結成。トレド RC がトレド身体障害児協会設立。
- 1916 : ・ガイ・ガンデカー (フィラデルフィア RC) が道徳律を含む「A Talking Knowledge of Rotary (ロータリー通解)」を著し、連合会が出版 (**ロータリーの一般奉仕概念の確**

- 立)。
- ・青少年活動国際委員会設立。米国で出席率競争開始。
英語圏以外で初のハバナ RC (キューバ) が設立された。
- 1917 :
- ・6月18日、アトランタ大会でアーチ・克蘭フ IARC (後の RI) 会長がロータリー財団の前身となる”doing good in the world”を目標とした「ロータリー基金」(Rotary Endowment)を提唱した。(ロータリー財団の始まり)。
国際大会の年度末開催が本格的に開始。調整のためこの年度は二度大会開催(シンシナティ、アトランタ)。
 - ・レズリー・ピジョン(カナダ・ウィニペグ RC) が米国外から初めて連合会会長になる。
 - ・7月、新年度に入り、カンザス・シティ RC がアーチ・克蘭フ IARC 前会長への記念品代として集めた残金“26 ドル 50 セント”を連合会に送ってきたので、理事会(1917.7.25~26)は克蘭フ会長が提唱した画期的基金への預託を採決した(最初の寄付)。
 - ・名誉会員制度制定。 身体障害児協会開始(トレド RC)。
 - ・ライオンズ・クラブ国際協会を非ロータリアンのメルビン・ジョーンズが設立(6月7日)。
- 1918 :
- ・連合会綱領に「ideal of SERVICE」という語が初出。
 - ・戦争避難民救済資金募集(アメリカの各クラブ)。第一次世界大戦終結。
- 1919 :
- ・ジョン・プール会長が“Service Above Self”を使って演説(Not Selfの衰退へ)。
 - ・連合会とクラブの綱領が統一される(ソルトレイク・シティ大会)。
 - ・地区ガバナー国際会議発足(後の国際協議会 3/17~18 シャーマン・ホテル)。
 - ・エリリア RC のエドガー・アレンがオハイオ州身体障害児協会を本格的に設立。
- 1920 :
- ・フランク・コリンズ死去。
 - ・最初の手続要覧の Rotary Creed(ロータリー信条)に、「“He profits …”が「ロータリー宣言」にある二つの公式スローガンの後半部分として採用されている。スローガン全体は“Service Above Self—He Profits Most Who Serves Best”と読まれる」とある。
 - ・日本最初の東京 RC 誕生 10/20 (認証番号 855、米山梅吉、福島喜三次両氏の尽力による)。少年週間“boy’s week”開始(ニューヨーク RC) (初の青少年のための活動)。
 - ・奨学金制度開始(アトランタ RC)。ロータリー徽章採用(楔穴無し)。
 - ・最初の「友愛の家」の原型がアトランティック・シティ大会で発足。
- 1921 :
- ・手続要覧に Rotary Creed の他に Rotary Motto が入り、「“He Profits …”が一般的にロータリー・モットーとして使用されている。“Service Above Self—He Profits Most Who Serves Best”の形式でも使われている」とある(モットーへ名称改変)。
 - ・米国外で初めて国際大会を開催(エディンバラ)。これを記念して綱領の中に国際親善と平和の項目を加えることを決定(国際奉仕の綱領化)。
 - ・シェルドンが大会で「ロータリー哲学」を講演し、黄金律を尊重しながら語る。直後にシカゴ RC からキングストン RC へ移籍。
 - ・この頃 “Service, Not Self ”が一般的にも“Service Above Self ”に変更される。
シカゴ RC 会員夫人および子女による”Women of Rotary Club of Chicago”(シカゴ RC の女性達)の集まり発足=RCではないが、シカゴ RC への協力を目的とする。

- 1922 :
 - ・全米身体障害者協会、身体障害者復帰国際協会設立。ソロプチミスト創立。
 - ・ **国際ロータリー (Rotary International) RI と改称**。ロサンゼルス大会 <6/5~9>1,243RC81,000 人。
 - ・ロータリーの綱領改正 (現在の原型、6 ヶ条に。新しい標準 RI 定款・細則及びクラブ定款・細則を採択。メイクアップ制度を含む出席規定制定 (**クラブ管理の抜本的改正**)。)
 - 但し 6/6 以前加盟のクラブは大会採択と異なる規定を維持可能とした (特権保有クラブ。) イギリスの RIBI による地域運営が容認される。
 - ・ **大阪 RC** が誕生 11/17 (登録番号 1349)
- 1923 :
 - ・セントルイス大会で決議 23-34 採択 <ウィル・メーニア Jr.=ナッシュビル RC、ポール・ウエストバーグ=シカゴ RC> (**ロータリー理念、原則の確立**)。
 - ・関東大震災(9/1)に際し RI と各国 RC から多額の見舞金が贈られる (RI : \$25,000、合計\$89,000)。ロータリーホーム建設。震災孤児支援募金。(東京 RC。ニコニコ箱の原型)。
- 1924 :
 - ・ロータリー徽章の正式規格 (楔穴付き) RI 理事会採択。
 - 「友愛の家」が正式名称とされ、以後常時開設される。
 - ・無地区時代日本にスペシャル・コミッショナー初代に米山梅吉就任 (1924~1926)。
- 1926(S1) :
 - ・第 1 回ロータリー太平洋地域大会 (5 月・ホノルル)
 - 日本初の RI 理事に米山梅吉就任 (1926~1927)。第 1 回都市連合懇親会開催(5 月・大阪)。
- 1927 :
 - ・ベルギーのオステンド大会で四大奉仕部門 (うち国際奉仕は翌年) を承認。クラブ奉仕部門、職業奉仕部門を新設し 23-34 が安易に“社会奉仕に関する声明”とされ社会奉仕部門とされた(26~6)。
 - Aims and Objects Committee (目標設定委員会) 提案による (**四大奉仕への転換**)。道徳律頒布中止。最初の青少年交換。RIBI 正式承認。
- 1928 :
 - ・「ロータリー財団」法人設立。のち、1931 年信託組織化、1983 年イリノイ州法のもとで非営利財団法人化 (**財団活動の確立**)。
 - ポール・ハリス著「The Founder of Rotary(ロータリーの創設者)」を RI 出版。ビビアン・カーター著「The Meaning of Rotary(ロータリー解析)」出版。
 - ・日本が満州、朝鮮を含む第 70 区(13RC)に制定される。初代ガバナー米山梅吉。大連 RC 設立。大連 RC の「ロータリー宣言」発表 (古沢文作)。
 - 第 2 回ロータリー太平洋地域大会 (10 月・東京)。
- 1929 :
 - 第 1 回 RI 第 70 区年次大会開催 (4 月・京都 第 4 回都市連合会を改称)。
 - ・モットー”He Profits---”廃止提案 (ダラス大会 29-7) 否決。ロータリー徽章 (楔穴付き) 確定 (29-12)。ロータリー旗規格確定。世界恐慌 (10 月)。
- 1930 :
 - ・ **ロータリー創立 25 周年**、シカゴで盛大な記念大会開催 (11,008 人)
 - パスト・サービス会員制度制定。青少年交換指針発表。シェルドン退会。
 - ・ロータリー財団がポール・ハリスの寄付による最初の補助金 500 ドルを拠出 (エドガー・アレンの国際身体障害者協会<後のイースター・シール協会>へ)。
 - ・日本スマイル箱の原型 (ただし罰金徴収式) が大阪 RC で発足。世界的不景気発生。

- 1931 :
 ・ロータリー財団信託宣言。
 ・浄財拠出型スマイルボックス開始（東京 RC 関幸重命名）。道徳律頒布禁止。
 日本第 1 回地区協議会開催（9 月、第二代井坂孝 DG）。定期的月信発信第 1 号(8/10) 会長幹事宛、第 4 号（10 月）から全会員に配布。台北 RC 設立。
 ・RI 公式資料「目標設定計画」の中で、“ideal of Service”を具体的に説明（初出）。
- 1932 :
 ・「**四つのテスト**」創案（ハーバート・テラー）。「国の法律習慣に関する批判」発表。
 ・史上最初の会員数減（世界不況）。RI が初めての同時通訳システム導入（於ビクトリア）。
- 1933 :
 ・1 都市 1 RC 制廃止(33-26)。「四つのテスト」発行。「ロータリアン間の取引関係」発表。
 ・右傾団体などからの圧力で京都 RC12 月第一例会、12 月 6 日に石川芳次郎会長が君が代合唱（及び日の丸掲揚＝推察）開始（京都 RC 週報）。戦後も各 RC で継続されている。
- 1934 :
 ・規定審議会が国際大会の必須部門として発足。シカゴ大学が「Rotary?」出版。
 ・「国事に関する方針の声明」発表。少年週間が青少年週間(“youth week”)となる。
- 1935 :
 ・現在の「ロータリーの綱領」ほぼ完成、前文と四カ条の本文という解釈（**目的の明確化**）。
 ・ポール・ハリス夫妻来日（帝国ホテル内庭に「友愛の樹<月桂樹>」手植え（2/9）。
 ・国家間訪問（ロータリー友情交換プログラム）設定。
 ・ポール・ハリス著「This Rotarian Age(ロータリーの理想と友愛)」を RI が出版。
 ・「奉仕の理想」「我等の生業」発表。第 7 回 第 70 区京都大会で発表。シェルドン没。
- 1936 :
 ・「国家有事中のロータリー活動」発表。「大連クラブロータリー宣言」採択（区神戸大会、5 月）。ロータリーの日本化運動。
 RI の中央集権制に日本への地域分権制導入を申し入れた(芝染太郎特使 妥協、撤回)。
 ・「ニコニコ箱」の常設（大阪 RC 7 月、東京 RC 9 月）。
 ・青少年週間が少年・少女週間（boy’s and girl’s week）となる。
 ・ドイツで RC 解散。翌年イタリア・オーストリアで解散続く。
- 1939 :
 ・第 2 次世界大戦勃発(1939-1945)。日本、第 70、71、72 区となる。自治地域制度適用。
 ・日満ロータリー連合会(RIJM)結成（区別府大会・7 月）RI 黙認？
 ・国際身体障害者協会 推進。（エドガー・アレン）。
 シニア会員新設、会員身分制度確立へ。
- 1940 :
 ・第 1 回日満ロータリー地区連合年次大会（横浜・5 月）。
 ・RI ハバナ大会で“人間尊重を求める”決議案を採択 戦後、国連憲章の基となった。
 ・**日本の RC が RI 脱退宣言**（9/4）。七曜倶楽部連合会結成。
 各クラブは和風名称に変えて例会を続ける。RI「青少年への奉仕の目標」発表。
- 1941 :
 ・日本、太平洋戦争に突入(1927 年 7/7 日中戦争開始から“アジア・太平洋戦争”と名称)。
- 1942 :
 ・RI 第 13 地区の大会が 21 カ国政府を代表する関係者をロンドンに招待して教育文化交流機構について協議する会議を開催、これが後にユネスコとして成立。

- ・シニア会員をシニア・アクティブ会員に変更。「ロータリアンに対する事業上の援助と助言発表。“Service Through Business”宣言文採択。チェスリー・ペリーRI 事務総長退任。
- ・史上二番目の会員減少(1940~1942) 第2次世界大戦起因。
- 1943 : ・RI 理事会は、1932 年にハーバート・テラー (シカゴ RC) が考案した「**四つのテスト**」を正式採用。後の 1954 年、テラーは RI 会長就任に先立ち版權を RI に寄贈。
- 1945 : ・46 カ国 49 人のロータリアンが国連憲章起草に参画。ロータリー財団の目標設定。
・第二次大戦終結。グアム RC が RI 復帰 (戦後第 1 号)。
- 1946 : ・米山梅吉逝去 (4/28)。福島喜三次逝去 (9/17)。
- 1947 : ・ポール・ハリス逝去 (1/27 享年 78 歳)。追悼募金が 5/1 までに 125,000 ドル集ったので「高等教育のための奨学金制度」(後の国際親善奨学生)を開始し、18 名の奨学生派遣。
追悼募金は合計 130 万ドル超に達した。日本第一回 RI 復帰協議会発足 (7/16)。
- 1948 : ・職業奉仕解説書、パーシー・ホジソン著「Service is My Business (奉仕こそわがつとめ)」を RI が出版。ポール・ハリス著「My Road to Rotary (わがロータリーへの道)」を RI が出版。職業奉委員会廃止。
- 1949 : ・**日本の RC が RI に復帰** 認証 3/29 (第 60 地区：東京 3/23、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌、他含む 13RC、1949 年度末には 20RC)。
1 都市 1RC 制を完全廃止。ドイツも復帰。国際協議会がシカゴ中心からレーク・プラシッドに移り“Enter to Learn, Go Forth to Serve”掲示開始 (ケンドリック・ガーンジイ 1947-48 RI 会長 作)。日本戦後初の手島知健ガバナー (東京 RC) 就任。
・パーシー・ホジソン RI 会長が RI テーマの原型を初発表。
- 1950 : ・2 つの標語“*He Profits Most Who Serves Best*”と“*Service Above Self*”をロータリー標語として公式採用 (デトロイト大会)。ICGF (後の IM：都市連合会)義務化。
・日本からの第 1 期ロータリー財団奨学生送り出す<1949~50> (清水長一米国へ。元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は翌年の第 2 期生)。中国の RC が解散開始。
インドの RC が定款から“male”の字を削除することを提案 (否決)。 朝鮮戦争勃発。
- 1951 : ・「ロータリー道徳律」本文が RI 細則から削除されて名称のみ残る。中国 RC 全面解散。
・ロータリーの綱領の“Objects”を“**Object**”に変更、単数に変更して 1 ヶ条の主文と四つの付随項目という解釈とした (アトランティックシティ大会 51-9)。
・RI 加盟承認番号を廃止。Aims and Objects 委員会廃止。
・日本最初の ICGF (現 IM) 開催。
・最初の財団奨学生ビューター君来日 (東大)。サンフランシスコ平和条約締結。
- 1952 : ・東京 RC で古沢丈作会長が**米山記念奨学金制度**を提案 (翌年より実施)。第 1 号の寄付者は米国のワイリー・ネルソン氏。「手に手つないで」発表 (第 60 地区大阪大会)。
・日本 2 地区 (第 60、61 地区) に分割。日本戦後初の RI 理事に手島知健 PDG が就任。
・ロータリー解説書「Adventure in Service(奉仕の冒険)」を RI が出版。
・日本で初めてのライオンズ・クラブ設立。

- 1953 : ・ 2 地区分割に対応して、機関紙「ロータリーの友」創刊。第 61 地区神戸大会で「手に手つないで」を唄い円陣を作ることが始まる。「それでこそロータリー」発表。
ホアキン・シビルス RI 会長が RI テーマを本格的開始、継続。朝鮮戦争休戦協定 (7 月)。
- 1954 : ・ 「四つのテスト」 著作権が作成者 H.テラーから RI 会長就任を機会に RI に寄贈される。
エバンストンに RI 中央事務局完成。
RI テーマ公式邦訳開始 ロータリー文献邦訳決定権者に手島知健 PDG。
「四つのテスト」 公募による邦訳決定 (本田親男)。
米山奨学生第 1 期ソムチャード・ラタナチャタ氏 (タイ) 来日。
・ チェスリー・ペリーがタルサ RC で“ideal of Service”を説明 (公式名簿巻末に引用)。
- 1955 : ・ **ロータリー創立 50 周年シカゴで大会**。記念誌“Rotary-Fifty years of Service”出版。
ロータリー財団の目標改正。日本 4 地区に分割。
- 1956 : ・ ロータリー財団週間制定。第 1 期 ROTA (GSE の前身) 実施。
・ 規定審議会の最初の隔年会合開催。戦後初の日本語訳手続要覧完成 (手島知健、宮脇 富)。
- 1957 : ・ ポール・ハリス・フェロー開始。地区番号が 3 桁になる。
全国規模の米山記念奨学委員会設立。日本 5 地区に分割。
- 1958 : ・ 世界理解週間制定。
- 1959 : ・ 財団奨学生の目的を国際理解に変更。RYLA がオーストラリアで発足。財団 GSE 採
択。
・ 「Seven Paths to Peace(平和への七つの道)」を RI が出版。日本 6 地区に分割。
- 1960 : ・ チェスリー・ペリー没(2 月)。日本 7 地区に分割。
- 1961 : ・ RI 第 52 回東京国際大会開催 (エド・マックローリン RI 会長、参加国及び地域 74 以
上史上最多 23,366 人、アジア最初の大会)。天皇陛下来臨。日本 8 地区に分割。
・ RI が「職業分類指針」発行。100 万ドルの食事始まる (マサチューセッツ州)。
- 1962 : ・ 最初のインターアクト・クラブがフロリダ州メルボルンに設立され世界各国に拡大。
翌年、日本最初のインターアクト・クラブ - 仙台育英高校 IAC 設立。
・ 世界社会奉仕プログラム (WCS) の導入 (**国際奉仕活動の本格化**)。
この頃から工業化学薬品過使用、煤煙排出などによる**公害、環境問題**がクローズアッ
プ。
- 1963 : ・ 「国際ロータリーの基本方針」「ロータリーの基本的特色」「国際青少年計画への指針」
を発表。世界社会奉仕委員会企画発表。ポール・ハリス夫人ジーン逝去(11 月)。
・ カール・ミラー会長が WCS プログラムを開始。
- 1964 : ・ シニア・アクチブ会員、アディショナル会員制度一部改正。
・ マッチド地区とクラブ・プログラム実施 (1963 年に計画)。
スリランカの RC が女性入会容認の制定案を提出 (否決)。
・ RI 文献日本語翻訳配布事務が東京文献事務所へ移行。
・ 日本 10 地区に分割。キワニスクラブ日本に渡来。
- 1965 : ・ マッチング・グラント開始などロータリー財団プログラム改正 (各種補助金)。

- 1966 :
 - ・研究グループ交換 (GSE) 発足。分区代理制度開始。日本 11 地区に分割。
 - ・WCS 財政援助制限解除 (**金銭的援助緩和**) RI 職業分類指針発刊 (最終)。
 - 最初の GSE 来日 (サンフランシスコ RC 中心、東京 RC ホスト)。
- 1967 :
- 1968 :
 - ・ロータリー米山記念奨学会を財団法人化。地区出席競争制定。日本 13 地区に分割。
 - ・**東ヶ崎 潔氏**が日本初の RI 会長に就任(1968-69)。
 - ・ローターアクト計画発表 (同年、川越に日本最初のローターアクト・クラブ設立)。
 - ・海外ロータリー・ボランティア制度発足。世界親睦活動発足。居住地会員制度制定。
 - ・アーチ・クラフツ賞設定。職業分類表を各 RC に委任。RI と RIBI 関係正常化。
 - 「意義ある業績賞」設定。日本 14 地区に分割。東京帝国ホテル旧館取壊して「友愛の樹」枯死救済策開始 (矢野一郎氏)。一世樹枯死すれども、挿し木により 7 本再生 = 二世樹)。
- 1969 :
 - ・青少年活動週間制定。地区幹事・地区会計制度制定。IGF 開催をガバナーの裁量に委任。
- 1970 :
 - ・規定審議会を 3 年毎の RI の立法機関として決定 (**組織の立法化**)。
 - ・**日本ロータリー50周年**。「ロータリー資料室 (現ロータリー文庫)」設立。
 - ・シニア・アクティブ会員制度一部改正。「職業分類対訳表」発行。日本 17 地区に分割。
- 1971 :
 - ・1959 年オーストラリアとニュージーランドで開発されたロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) を公式採用。
 - ・世界社会奉仕推進を強調。「公害防止の指針」発表。日本 18 地区に分割。
 - ・「ロータリー日本 50 年史」出版。ロータリー重要文献日本語訳改定実施。
- 1972 :
 - ・RI の立法機関としての規定審議会が初開催 (ヒューストン大会)。「環境の改善」発表。
 - 米国の RC が女性会員入会を提案 (否決)。
 - ・日本第 1 回ロータリー研究会開催(12 月、京都)。
- 1973 :
- 1974 :
 - ・青少年交換プログラム始まる。「環境保全と資源問題委員会」設置。中断の「意義ある業績賞」復活。規定審議会の 3 年毎開催確定。
- 1975 :
 - ・「国法の遵守」発表。「ロータリーの友」英語版創刊。
 - ・この年度後半、6 月に RI 第 366 地区 (大阪・和歌山) が RYLA を日本で初開催。
- 1976 :
- 1977 :
 - ・ロータリーの目的 (定義) 発表。日本ガバナー連絡会議 (今のガバナー会) 発足。
 - ・規定審議会を RI 大会から独立の立法機関として開催。日本の地区番号が 200 番台に。
 - カリフォルニア州デュアルテ RC に女性 (シルヴィア・ウイットロック) 入会。日本 22 地区に分割。
- 1978 :
 - ・RI 第 69 回東京国際大会開催 (ジャック・デービス RI 会長、参加国及び地域 95 以上、史上最多 39,834 人)。
 - ・保健・飢餓追放・人間尊重 (3-H) プログラム発表 (**RI 主導型奉仕活動**)。
 - ・米国デュアルテ RC が女性を入会させていたので RI がクラブを除名 (3 月)、その後裁判へと移行。ロータリーの目的 (定義) を手続要覧に掲載。日本 23 地区に分割。
- 1979 :
 - ・職業奉仕週間新設。フィリピンでポリオ予防接種開始 (3H 補助金第 1 号)。

- 1980 :
 ・ **ロータリー創立 75 周年シカゴ大会**。それに合わせてポリオ予防接種のための **3-H プログラム推進**。
 ・ 「道徳律」(RI 細則第 16 条) が名称だけ残っていたのを完全削除 (80-22)。
 ・ 「ロータリーの友」公式地域誌に認定。日本 24 地区に分割。「**友愛の樹**」一世樹から再生の二世樹 7 本の内、東京帝国ホテル左前庭、皇居北の丸公園に移植 (東京 RC 創立 60 周年記念) 他、米山記念館、二宮尊徳記念館。残り 3 本中 1 本枯死、2 本が神奈川県大井町の第一生命本社敷地内に現存。二世樹から枝分けされた少数の三世樹からの四世樹が拡散開始。
- 1981 :
 ・ 恒久基金設定。RI 日本支局開設 (現日本事務局)。RI が“ロータリアン必携”発行。
- 1982 :
 ・ **向笠広次氏**、日本人二人目の RI 会長に就任(1982-83)。「日本ロータリー60 年史」出版。
 ・ 毎週例会を全 RC が導入。ダラス大会で初めて“Women in Action for Rotary”セッション開催。第一回日韓親善会議開催 (ソウル)。文献代行者制廃止。日本 26 地区に分割。
- 1983 :
 ・ ロータリーの特別月間開始。女性入会容認で除名されたデュアルテ RC が RI を告訴。
- 1984 :
 ・ 「ロータリーの基本的特色」発表。「ロータリーの目的」を「ロータリーの定義」と改正。
 ・ 決議 23-34 が手続要覧から突然の削除。
 最初のカラー・ジャケット (黄色) をカルロス・カンセコ RI 会長が使用。
- 1985 :
 ・ ロータリー創立 80 周年。「**ポリオ・プラス計画**」を発表 (翌年より実施)。1 億 2,000 万ドル募金発足 (**ポリオ撲滅運動の推進**)。日本 27 地区に分割。
- 1986 :
 ・ ロータリアンが 100 万人を突破、日本では 10 万人を超える。
 ・ 決議 23-34 が手続要覧に復活。ローズ・パレード (パサデナ) でポリオ・プラス計画をテレビ公表。RCC (ロータリー地域共同体) 採択。カリフォルニア州最高裁判所で勝訴したのでデュアルテ RC が RI に復帰 (9 月)。RI はこの判決を不服として直ちに米国連邦最高裁判所に控訴。デュアルテ RC で世界初の女性会長シルヴィア・ウィットロック就任。新設では世界初の女性を含めたマリリン・サンライズ RC 創立。
 ・ 米国最高裁所は RI の控訴を棄却して、RC への女性入会を合法判決とした。
- 1987 :
 ・ RI 職業奉仕委員会復活 (40 年ぶり)。職業奉仕に関する声明発表 (**職業奉仕概念の変更**)。
 RI 長期計画委員会発足。
 ・ 初めての RI 平和フォーラムがエバンストンで開催。日本 28 地区に分割。
- 1988 :
 ・ 広島で 1987 年度第 4 回ロータリー平和会議(フォーラム)開催。ロータリー友情交換採択。
 ・ 「他団体への協力」発表。ロータリー理解推進月間・会員増強拡大月間新設。
 GPEI (世界ポリオ撲滅推進活動) 発足。ポリオ・プラス募金 2 億 4,700 万ドル達成。
- 1989(H1) :
 ・ **女性ロータリアンを認める** 1987 年米国連邦最高裁 RI 敗訴判決を受けてシンガポール規定審議会が採択(89-54)。日本最初の女性会員 松田郁子 (RID2500 北海道清水 RC)。
 ・ 「**ロータリアンの職業宣言**」採択。「ロータリーの定義」文言改正。

- “Service Above Self ”（超我の奉仕）が第1標語とされた。
- ・「綱領」の日本語訳文変更。日本30地区に分割。
- 1990 :
- ・ IGF を IM に呼称変更（日本 ICGF→IGF→IM）。
 - ・ ソビエト連邦政府と RI がモスクワに仮ロータリークラブ結成を合意した。（3/24）
 - ・ 「子供の権利」発表。ロータリー財団寄付シェア・システムに改正。「われらの天体、地球の保全プログラム」が発表されて、同プログラムのパイロット始動承認。
- 1991 :
- ・ 日本ポリオ・プラス・キャンペーン終了（募金総額 49 億円：1985 年から目標 40 億円）。その後、財団ベースで継続。
 - ・ ロータリー財団シェアシステム実施。「国際ロータリーの使命」発表（**団体奉仕活動の提唱**）。日本31地区に分割。地区番号が4桁・2000番台に変更された。
 - ・ ソビエト連邦が崩壊し(12/25) ロシア・ソビエト連邦共和国成立。以後、この通称“ロシア共和国”内にウクライナなど多くのロータリークラブが急速に設立された。
- 1992 :
- ・ 社会奉仕に関する声明（決議 92-286）採択（**社会奉仕基準の改正**）。
 - ・ 環境保全（決議 92-287）を発表。アディショナル正会員制度一部改正。規定審議会へのクラブからの提案は地区大会決議を必須とした。**地球温暖化**が注目され始める。日本33地区となる。
- 1993 :
- ・ 世界社会奉仕の目標発表。
- 1994 :
- ・ アメリカ大陸ポリオ・フリー宣言。日本34地区に分割。
- 1995 :
- ・ 規定審議会で“**ポリオ撲滅を RI の最優先事項とする**”を採択。メイクアップ期間の変更（前後2週間）。パスト・サービス会員資格改正。「家族」構想開始。家族週間指定。「ロータリーの定義」改正。女性最初のガバナー8人誕生。
- 1996 :
- ・ 各地で新世代会議開催。新世代のための月間発足。ロータリーの綱領下文に RI 見解付加。
 - ・ 「女性のニーズに応えるロータリー活動声明」採択。DLP（地区リーダーシッププラン）が全地区に推奨される。日本が第1.2.3.4ゾーンとなる。
- 1997 :
- ・ ニュー・リーダーシップ・プラン採用。「ロータリー家族」構想推進。
- 1998 :
- ・ IM が手続要覧から抹消。出席規定適用免除改正。「国際ロータリーの使命」改正。「青少年」から「新世代」のためのプログラムへ変更。RI大会で日本人親善朝食会開始（インディアナポリス大会）。
- 1999 :
- ・ ロータリーセンターの設置決定（日本では国際基督教大学に設置、2002年開始）。RI日本事務局翻訳室廃止。以後、翻訳は世界本部日本語課が担当。RIがロータリー章典を初発行（英語版）。
- 2000 :
- ・ DLP が義務的实施予定と決定。CAP（地域社会援助プログラム、後の地区補助金）開始。西太平洋地域ポリオ撲滅宣言。日本35地区に分割。
- 2001 :
- ・ 会員を正会員と名誉会員に統合、他の各種会員廃止（**1業種1会員制変更**）。サイバーRCのテスト認可。メイクアップ規定の変更。「国際ロータリーの使命」改正。クラブ区域限界(territory)の呼称が所在地域(locality)に変更。第一回国際RYLA会議。
- 2002 :
- ・ 1993年から試験的に実施され1996年に推奨プランとなった地区リーダーシップ・プラン（DLP）が義務的实施となる（**ロータリー第2世紀への体制強化**）。RI長期計画委員会発足。ヨーロッパ大陸ポリオ・フリー宣言。

- ロータリー世界平和フェロー第1期生入学。
- 2003 :
 ・創立100周年に向けて「ポリオ撲滅キャンペーン」展開。日本34地区に再編成。
 ・「ロータリー家族」をこの辺りからRI会長強調事項とした。家族月間設定。
- 2004 :
 ・“He Profits Most・・・”を“**They Profit Most・・・**”に改正。
 ・ロータリーにおいて歴史的重要な説明や文書の原文を保存することを決議(04-273)。
 ・2000年よりDLPに連動するクラブ管理プランとして検討され、2003年より試験的推奨が始まっていたクラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)導入の推奨クラブ細則が発表された(11月RI理事会)。RI長期計画(2004-07)発表。
 ・「ロータリーの基本的特色」削除。「ロータリーの定義」表示消去。
 ・RI第95回大阪国際大会(ジョナサン・マジアベRI会長、参加国及び地域112以上、史上最多45,595人)。RIが「奉仕の一世紀<国際ロータリー物語>」発行。
- 2005 :
 ・**ロータリー創立100周年記念大会**(シカゴ、参加国及び地域161以上、39,460人)。期限としていたポリオ撲滅があと1%未達成となり、以後これをRI最優先目標とした。
 ・日本に財団学友によるRCがRID2780神奈川に誕生(2007年に大阪でも誕生)。CLP推奨細則一部改正。財団の「**未来の夢計画**」委員会設置。
- 2006 :
 ・財団の「**未来の夢計画**」始動(**財団の新方針**)。半期必須出席率60%が50%に緩和。
 ・「国際ロータリーの使命」改訂。上海、北京RCが認証された。
- 2007 :
 ・財団学友、ボランティア・リーダーの入会を承認。**(会員資格の大変更)**。
 ・四大奉仕部門をロータリー・クラブ定款に明記(2010年に五大奉仕となる)。
 ・ポリオ撲滅がロータリーの最優先事項であることを確認。
 ・ポリオ撲滅へのビル・ゲイツ財団からの1億ドルの寄付に対応してロータリー1億ドルチャレンジ・グラント発表(翌年より2億ドルを目標として2012年6月末まで継続)。
 ・RI長期計画2007-10(中核となる価値観記載)発表。「国際ロータリーの使命」改正。
 ・ロータリー財団の使命、標語(Doing good in the world)、優先事項など採択。
 ・初の公式日本語訳ロータリー章典発行。以後継続していない。
 ・日本人初の女性ガバナー(2007~2008)、RID2630田中稔子(としこ)就任。
- 2008 :
 ・決議23-34がロータリー章典から抹消(手続要覧には記載)。
 ・女性RI理事第一号カロリース・ヌヴォー(パリRC)第一回日台親善会議(於東京日本26地区に分割)。
- 2009 :
 ・RI第100回バーミンガム国際大会(参加国及び地域157以上、16,062人)。
 RI職業奉仕委員会再復活。公式名簿巻末の“ideal of Service”説明文を削除し改変。日本が第1,2,3ゾーンとなる。ゾーン研究会がロータリー研究会と改称された。
- 2010 :
 ・**新世代奉仕**が加わり五大奉仕部門となる。
 ・“They Profit Most・・・”を“**One Profits Most・・・**”に変更。
 ・4月の規定審議会で「決議23-34第1項を奉仕の哲学の定義として使用することを検討するようRI理事会に要請する件」採択(10-182 釧路北RC提案)。6月理事会で確定。
 決議23-34のロータリー章典、手続要覧両方への掲載決定(**ロータリー理念の再確**

認)。

- ・ RI 新長期計画発表 (2010-13)。E クラブ承認。「未来の夢計画」パイロット地区発足。
- ・「ロータリーの定義」説明削除。「国際ロータリーのビジョン」「中核となる価値観」発表。
米山学友を中心の東京米山友愛ロータリークラブが設立。日本最初の E クラブ設立。
- 2011 :
 - ・「ロータリアンの職業宣言」を「**ロータリーの行動規範**」(8 項目)と改正変更。
WCS (世界社会奉仕) が廃止され国際奉仕に一元化(7/1 から)。
 - ・ RI 長期計画は RI の「ビジョン」を「本質」と改正。10 月には「長期計画」(和訳名)を「戦略計画」と改称。**(One Rotary<RI と TRF の一元化> 構想推進)**。
 - ・ RI 職業奉仕委員会を RI 職業奉仕推進委員会と改称して継続。
ジョン・ヒューコ氏が RI 事務総長就任。“The Rotarian”のデジタル版発刊。
- 2012 :
 - ・ **田中作次氏**、日本人三人目の RI 会長に就任(2012-13)。インドをポリオ常在国から除外。
 - ・ ポリオ撲滅ロータリー2 億ドルチャレンジグラント達成。さらに募金活動推進。
- 2013 :
 - ・ “Object of Rotary”の日本語訳「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」とされ内容の訳文も改正された。ガバナー協議会 (2008~09 年度 PDG) 活動の成果。
 - ・ 国際奉仕の基本方針削除。ゲイツ財団がポリオ・プラスへの寄付継続を表明。
 - ・ 新世代奉仕部門を青少年奉仕部門と改称。E クラブ数制限撤廃。
 - ・ 広島で 2012 年度ロータリー世界平和フォーラム開催(ベルリン、ホノルルに次いで)。
 - ・ ロータリー財団新補助金プログラム「未来の夢計画」実施 (7/1 から)。
「六つの重点分野」採択。
- 2014 :
 - ・ 1 月、国際協議会に 1949 年以来掲げられていた“Enter to Learn, Go Forth to Serve”が廃止され、“Join leaders, Exchange ideas, Take action”が掲示された。
 - ・ 1 月、「ロータリーの行動規範」が 8 項目から 5 項目となり、さらに 10 月には 4 項目となる (第 5 項目削除はロータリー・グローバル・リワード実施のための準備)。和訳名がまもなく「**ロータリアンの行動規範**」と是正された。ロータリー学友の定義拡大。
 - ・ ロータリー雑誌購読義務が電子版でも良いと承認 (2010 年 11 月 RI 理事会) されたことに対応して「ロータリーの友」電子版 1 月号発刊。RI 戦略計画が修正されつつ進行。
 - ・ 10 月、特別月間を「六つの重点分野」をベースとして大幅変更決定(2015 年 7 月実施)。
東南アジア地域ポリオ・フリー宣言。
- 2015 :
 - ・ ロータリー・グローバル・リワード (会員特典プログラム) 開始。**(「ロータリアンの職業宣言」の基本変更)**。
 - ・ 新特別月間開始。特別週間の部分変更もあり。
- 2016 :
 - ・ 4 月、**規定審議会**で**ロータリー史に残る多くの重要な決定**。
「柔軟性」というキーワードで
 - 例会と出席に関する例外規定 (16-21)。
 - 会員身分に柔軟性を認める例外規定 (16-36、38)。

- 決議審議会が毎年開催され決議案のみオンライン採決となり、制定案だけが3年毎の規定審議会で採択されることとした。(16-113) 2017年度開始。
 - Eクラブが事実上従来型クラブと同一となり文言削除(16-30、82)。
 - ・「RI戦略計画の最新情報」が発表され、「奉仕」に偏重傾向を見直して「会員組織」と等重量となるよう心がけるとの説明(基本の再確認)。
 - ・「日本のロータリー100周年実行委員会」設置。
- 2017:
- ・1月、理事会は8年毎のゾーン編成見直しにより新編成案採択。6月理事会から総括的審議継続開始。「ロータリーのビジョン声明」発表。
 - ・2016年度「ロータリー財団100周年」祝賀行事が世界的にロータリー・デーとして実施。
 - ・ロータリー財団100周年記念アトランタ大会が盛大に開催(6/10~6/14 33,900人)。ロータリー財団 記念誌“「世界で良いことをしよう」人々の心に触れた100年”発行。
 - ・地区指導者育成セミナーがRIの研修サイクルから削除決定(9月)。
 - ・最初の決議審議会が10月15日~11月15日にオンライン投票で開催された。
- 2018:
- ・新しいRI戦略計画が6月の理事会で採択された。ローターアクト発足50周年。
 - ・2020年の“日本のロータリー100周年”を記念して作成のゴールデン・ゴングを1年先行して7月から各地区ガバナーが公式訪問などへ携行して点鐘した。
 - ・新制度の2019年規定審議会への立法案集(制定案のみ)発表。会期が1日短縮決定。
 - ・地区リーダーシップ・プランが10月理事会で大幅に修正された。(2019年7月1日から有効)(体制強化推進)。ロータリー未来形成委員会設置。
 - ・中華人民共和国で増えつつあるロータリーを海外NGOとして登録する手続きを行うことに同意した(RI10月理事会)。
- 2019:(R1)
- ・「ロータリアンの行動規範」が1項目付加され、5項目となった(1月理事会)。
 - ・4月、規定審議会が一日短縮で開催され、前回に続いて更に柔軟性そして革新性を標榜する提案が採択された。(RIのIT化が急加速)。
 - メイクアップ期間を同年度内とする(19-35)。
 - 公職、RI職員規定を削除(19-37)。
 - 職業分類の制限廃止(職業分類は残される)(19-39)。
 - 事務総長が「最高経営責任者(CEO)」の肩書を使用する事を採択(19-62)。
 - ローターアクトクラブがRIに加盟する事を採択(19-72)。それに伴い2017年発表「ロータリーのビジョン声明」の主語“私たちロータリアンは“から“私たちは”と変更。
 - ・RIとTRF共通の2020-2021年次目標が戦略計画をベースとした形で採択。戦略計画の優先事項に行動計画を付加して行動を促している(5月理事会)(RIとTRFの一元化)。
 - ・ポリオ撲滅計画の日本語訳を根絶と改称。DEI声明採択。
 - ・RACがRIに加盟する事が承認されたため、7月には最善の形で実施するための調査をするタスクフォースが設立されて、理事会が未確定事項の審議を急進。10月にはRAC会員の年齢上限解除など多くの案件が採択された。
 - ・12月、中国武漢市で新型コロナウイルス流行発生し、世界的に大拡散始まる。

2020:

- ・オンラインによる理事会は新型コロナウイルスへの対応として RI、地区、クラブなどの会合をオンラインで行うことを推奨、容認した（3月）
更に 2020 年 6 月予定の RI 国際大会（ホノルル）の中止を決定した。
- ・RI 国際大会をバーチャル大会で実施することを決定。ロータリーのプログラム、会合、行事の全参加者の健康と安全を最重要として、新型コロナウイルスへの対応原則は各会合で直接顔を合わせることを義務としない事とした。この原則を念頭に、現状における具体的なロータリー活動の規則と指針を採択した（4月）。**（新しい組織運営様式の導入）**
- ・ロータリーグローバルリワード - プログラムを 2021 年 6 月末で終了することを決定。
- ・日本では 3 月初旬からの例会の取りやめや、次年度地区準備会合、地区大会などの中止や延期が相次ぎ、大きな混乱を来した。
- ・国際キワニス、ライオンズクラブ国際協会、国際ソロプチミスト、国際ロータリーの各会長が懇談し、「新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的大流行（パンデミック）収束のため、共に行動を起こし、団結を図る革新的な方法を見出すことに全力を注ぐ」と言う合同声明を発表した（5月）。**（世界的大規模合同奉仕活動への展望）**
- ・RI 理事会とロータリー財団管理委員会は「**環境の保全**」、のち「**環境**」という新たな 7 つ目の重点分野を追加した。当プロジェクトの補助金申請は 2021 年 7 月 1 日から受付。
- ・RI の公式機関紙の名称が「The Rotarian」から「Rotary」に改称された。2021 年 1 月号またはそれ以前からとされている。
- ・DEI（多様性、公平さ、開放性）に関する包括的行動計画作成の任務をタスクフォースに要請（6月）。
- ・SRF(Shaping Rotary's Future=ロータリー未来形成)委員会正式設置（8月）。
RI の新たな構造モデルの草案起草推進を要請（10月）。
11 月から現状における案を公表。日本でも 12 月にかけてオンライン説明会開催。
- ・**日本ロータリー100周年**（東京 RC 創立 1920 年 10/20）を迎えた。

2021 :

- ・1 月 RI 国際大会（台北）はバーチャル開催と決定。
- ・国際協議会もバーチャルで開催された。
- ・「ロータリー日本 100 年史」発行(6/30)。
- ・当初の DEI 声明に代わる“多様性、公平さ、インクルージョン（包摂）”へのコミットメント声明採択（10月）。タスクフォースの任務を 2023 年 6 月まで延長。
（RI が組織構造と行動規準の抜本的変革推進）
2022 年の規定審議会に SRF など関連諸議案が提案される予定。

2021 年 10 月 30 日 改訂版